

# 平成31年度 学校経営方針

平成31年4月1日 京都市立養正小学校

## 小中一貫教育目標

### 小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



## 学校教育目標

### 子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ○主体的に学ぶ意欲と自ら考え、表現する力の育成   | 【学 力】   |
| ○互いの良さを認め、共に高め合う学習集団の育成   | 【人 権】   |
| ○人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成   | 【豊かな心】  |
| ○望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 | 【健やかな体】 |



## めざす子ども像

- |                  |         |
|------------------|---------|
| すすんで考え、表現する子     | 【学 力】   |
| 自分や仲間の良さを認められる子  | 【人 権】   |
| きまりを守り、楽しく活動する子  | 【豊かな心】  |
| 運動に親しみ、健康な生活をする子 | 【健やかな体】 |

### 1 めざす子ども像の具体化

#### 「すすんで考え、表現する子」

- \*授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって意欲的に学習する子ども
- \*基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- \*教材（資料）や発言等を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

#### 「自分や仲間の良さを認められる子」

- \*自分の良さに気づき、その良さをさらに伸ばそうとする子ども
- \*仲間の良さや頑張りを素直に認め、相手を思いやる言動ができる子ども
- \*様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けている子ども

#### 「きまりを守り、楽しく活動する子」

- \*学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- \*仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- \*身近な人との関わりを楽しみ、相手・時・場に応じた言葉づかいができる子ども

#### 「運動に親しみ、健康な生活をする子」

- \*命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- \*食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的な生活習慣を身に付けている子ども
- \*運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくろうとする子ども

## 2 学校運営の基本方針 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①【徹底】 全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。
- ②【研鑽】 個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量（指導力）や人権感覚の向上をめざす。
- ③【参画】 全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、教育課程や内容の見直し（カリキュラム・マネジメント）、業務の削減と効率化を進める。
- ④【結果】 学力向上・規範意識の高揚・生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。

## 3 今年度の取組の重点

### （０）「組織力」「環境（学習環境・職場環境）」

- \* コミュニケーション，風通し，明るい雰囲気のある職場づくり（ソフト面）
- \* 美しい職場環境づくり（ハード面）⇒職員室・会議室・資料室 等
- \* 落ち着きのある学習環境の整備  
⇒ソフト面：あいさつ・丁寧な言葉づかい・温かい関わり・笑顔 等  
ハード面：教室（総合・特別教室）・廊下・校庭・靴箱 等

### （１）「学習規律」「基礎・基本」「関心・意欲」「思考力・表現力」「自学自習」

- \* 『学びの約束・ルール』（小中一貫教育構想より）の実践・徹底＝年度当初より
- \* 朝読書，ベーシック・ステップアップ，言葉ランドの確実な実践
- \* 「わかる授業」「考え，表現する授業」の積み重ね  
⇒基本的な学習過程【導入－問題－めあて－一人学び－話し合い（グループ・全体）－まとめ－振り返り】  
★動機付け（しかけ），思考を促す発問，話し合いの視点  
⇒的確な支援【視覚教材（デジタル教科書など）・見やすい板書・指示 等】
- \* 授業研究，中堅若手自主研修等での積極的な授業公開⇒国語・算数を中心に
- \* 学校図書館・視聴覚室の積極的な活用  
⇒読書環境の充実：読書ノート・バッグの活用，学校司書との連携，読書週間  
⇒「学習・情報センター」として授業での活用
- \* 家庭学習（自学自習）の習慣化 ⇒宿題：提出の徹底と個別化，自学：内容の紹介  
★漢字・計算，音読・読解，「問題データベース」活用，ノートの掲示

### （２）「人権感覚」「自尊感情（自己肯定感・自己有用感）」「規範意識」

- \* 人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり  
⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感  
⇒『生徒指導の機能を生かすためのチェックリスト』（生徒指導課より）の活用  
⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援

＊人権に関わる学習活動や取組の着実な実践

- ⇒「にこにこ集会」「学級での人権学習」「ようせいタイム」等の充実
- ⇒児童会との連携：月目標，振り返り，各種キャンペーン
- ⇒新たな人権課題への対応：「発達障害」「L G B T」「情報モラル」「虐待」等
- ⇒不易の取組：同和問題にかかわる単元の指導，ハートフルタイム，インプロ，交流学習，コリアみんぞく教室

＊「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践

- ⇒生指ミーティング，ケース会議，保健室・S C ・S S W及び家庭との連携
- ⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」の活用
- ⇒『養正校のやくそく』についての継続的でぶれない指導

（３）「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」

＊健康教育推進計画に基づく実践の継続

- ⇒基本的な生活習慣の定着に向けて：食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム
  - ・「生活しらべ」の結果に基づく指導（子ども・保護者）
  - ・歯，口の健康改善＝給食後の歯みがき，歯の健康に関する指導
  - ・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携
  - ・体育学習の授業改善，「ロング昼休み」の活用等

＊自分の命・健康を守り切る力の育成

- ⇒学級活動：安全ノートの活用，避難訓練：様々な想定・三校合同研修

＊「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応

＊防災マニュアルの改善と共通理解，校内の危険箇所の点検と整備

（４）「コンプライアンス」「働き方改革」「その他」

＊法令遵守の徹底，教育公務員としての倫理観の向上

＊時間・物の有効活用＝業務削減，放課後の時間の捻出，仕事コントロール

- ⇒会議等の時間，電話対応・施錠時刻，仕事のめりはり，授業時数の確保
- ⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見通しをもった購入，光熱水費等の節約

＊地域，関係諸機関との積極的な連携

- ⇒高野中学校区三校，校区保育所，児童館，東山総合支援学校，児童相談所 等

＊新学習指導要領（移行措置）の共通理解と実践

- ⇒「道徳」「外国語（英語）」「学習評価」「カリキュラム・マネジメント」等